

## 製品安全データシート

【製品名】	T/#8400	インサルテックスクロス
	T/#8400-H(SUS)	インサルテックスクロス-H(SUS)
	T/#8400-R	インサルテックスクロス-R
	T/#8401	インサルテックステープ
	T/#8402	インサルテックスヤーン
	T/#8403	インサルテックスチューブ
	T/#8982-100I	インサルテックスアルミ加工クロス

### 1. 化学物質等及び会社情報

#### [製品情報]

製品名：ガラス長繊維紡織品（上記記載の製品名を参照のこと）  
一般名：ガラス長繊維、アルミナほう珪酸ガラス、Eガラス、無アルカリガラス  
主な用途：断熱フトン、保温外被材、断熱材、遮断カーテン等  
概要：かさ高加工したガラス長繊維を撚糸・製織し、特殊処理を重ねた厚手ラギング用製品で、  
T/#8982-100I はインサルテックスクロスをアルミ加工したものと

#### [製造者情報]

会社名：ニチアス株式会社  
所在地：東京都中央区八丁堀一丁目6番1号  
担当部門：技術本部環境管理室  
担当者：戸塚優子  
電話番号：03-4413-1173  
FAX：03-3552-6138  
緊急連絡先：技術本部環境管理室 03-4413-1173

#### [販売者情報]

会社名：ニチアス株式会社  
連絡先：技術本部環境管理室 03-4413-1173

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類：本製品は規制対象物質を含まないため分類対象外  
GHSラベル要素： -  
注意喚起語： -  
危険有害性： 通常取り扱いでは有害性はない。

### 3. 組成、成分情報

単一製品、混合物：表面処理剤を含む単一製品  
化学名：

	CAS 番号	官報公示 整理番号	安衛法 <sup>1)</sup> 通知 対象物	P R T R 法 <sup>2)</sup>	
				第一種	第二種
ガラス長繊維	65997-17-3	該当なし	非該当	非該当	非該当

1)労働安全衛生法、2)特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律  
\*ただし、アルミ加工クロスは基布の表面にアルミ加工してある

#### 4. 応急措置

- 眼に入った場合：異物感がなくなるまで清水で洗浄する。眼をこすってはならない。  
皮膚についた場合：付着した部分を石鹼水で洗浄し、やや熱めの温湯で洗い流す。  
外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。  
吸入した場合：鼻やのどに刺激のあるときは、鼻をかませ、うがいをさせる。  
誤飲した場合：飲み込んでみても害はないが、異常があれば医師の手当てを受ける。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤：泡沫消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、砂。  
保護具：消火作業従事者は自給式空気呼吸器及び保護衣を着用する。  
その他：ガラス繊維自体は不燃性だが、繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は一般に可燃性である。

#### 6. 漏出時の措置

本製品が壊れ、床面などに粉じんがこぼれた場合は、速やかに粉じんが飛散しないように静かに清掃し、空容器や袋等に詰めて、一般産業廃棄物と同様の扱いとする。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### [取扱い上の注意]

- 切断等の加工を行う場合には、下記の点に注意すること。  
また、製品廃棄時に粉じんを発生させる可能性があるので、作業時には湿潤化を推奨する。  
・取扱いに際しては防じんマスクを着用すること。  
・長袖の作業衣及び保護手袋を着用すること。また、必要に応じて保護眼鏡を使用すること。  
・取扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。  
ガラス長繊維は静電気を帯びやすい性質がある。ガイドやゴムロール等に通して運転する作業では静電気が起こるため、アース、静電除去装置の設置等の対策を行う。

##### [保管上の注意]

安全上問題はないが、性能を維持するため、水濡れに注意し冷暗所に保存すること。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度：

	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会 2010	ACGIH 2010
ガラス長繊維	3.0 mg/m <sup>3</sup> <sup>R)</sup>	1 f/ml <sup>F)</sup>	1 f/cc <sup>F)</sup>

R)吸入性粉じんとして F)長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/直径)3:1以上の吸入性繊維

設備対策：局所排気装置及び洗顔・洗身・うがい・更衣設備・洗濯設備等の設置が望ましい。

保護具：呼吸用保護具...必要に応じ防じんマスクの着用が望ましい。

保護眼鏡.....必要に応じ保護眼鏡の着用が望ましい。

保護手袋.....皮手袋などガラス繊維を通しにくいものの着用が望ましい。

保護衣.....襟付きで手首、足首が締まっているものが望ましい。

#### 9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態：固体、布状～テープ状  
色：白色  
臭い：なし  
使用温度：550 以下 アルミ加工クロスが直接高温部に触れる場合は200 以下  
沸点：適用せず  
融点：610-800 (軟化点)

## インサルテックスクロス

[MSDS No:8400-f]

作成日：96/10/14

改訂日：11/11/09

蒸気圧	: 適用せず
密度	: 約 2.5 g/cm <sup>3</sup>
繊維径	: 9 μm
溶解性	: 水にほとんど溶けない。強アルカリ、強酸に可溶。
引火点	: 非引火性
発火点	: 適用せず

**10．安定性及び反応性**

安定性・反応性 : 安定、反応性なし

危険・有害な分解生成物 : ガラス繊維自体は不燃性だが、繊維上に加工した表面処理材等は一般に可燃性で燃焼時には炭酸ガス、水の発生が予想される。

**11．有害性情報****[製品の情報]**

眼に入った場合 : 物理的な刺激作用がある。

皮膚についた場合 : かゆみや紅斑を生じることがあるが、一過性で慢性の障害を生じることはないとされている。

吸入した場合 : 切断加工時に発生する粉じん中に吸入性粉じん及び繊維が含まれるので、長期間にわたり大量に吸入すると呼吸器系障害（じん肺）を生じる可能性がある。

誤飲した場合 : 特になし

**[成分の情報]****・ガラス長繊維の情報**

刺激性（眼・皮膚） : 直接接触時に物理的的刺激があるが、毒性はない。

ガン原性 : IARC グループ3（ヒトに対する発がん性については分類できない）

急性毒性・慢性毒性 : 急性毒性ではないが、慢性毒性はある。（長期間、多量にガラス繊維を吸入したとき、じん肺を起こすおそれがある。）

**12．環境影響情報**

生態影響についてはデータなし。環境庁が提唱している内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）には該当しない。

**13．廃棄上の注意**

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、一般産業廃棄物となり、廃棄物の分類は“ガラスくず・陶磁器くず”に該当するので、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に基づき、適切な処理を行う。

**14．輸送上の注意**

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、障害がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国連分類 : 該当なし 国連番号 : 該当なし

**15．適用法令**

労働安全衛生法	適用（通知対象物の該当なし）
粉じん障害防止規則	適用*
消防法	適用なし
危険物船舶運送及び貯蔵規則	適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	適用なし



\* ) ガラス長繊維は、じん肺法、粉じん障害防止規則（粉じん則）において「鉱物」に該当し、次の作業を行う場合はじん肺法、粉じん則の適用を受ける。

鉱物(本製品)を裁断し、彫り、または仕上げする場所における作業（粉じん則別表1の6号）

鉱物(本製品)を動力により破碎し、粉碎しまたはふるいわける場所における作業（粉じん則別表1の8号）

なお、平成5年1月1日付基発第1号労働省通達により「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針」が示されているので、この内容を遵守すること。

## 16. その他の情報

### [改訂情報]

改訂年月日	改訂番号	内容
01/11/20	c	・ JIS 様式、PRTR 法に準拠するよう改訂した。
07/05/07	d	・ 静電気発生の記載を追加した。 ・ JIS 様式に準拠するよう改訂：2 項、3 項の順入れ替え 8 . ばく露防止及び保護措置：粉じん管理濃度の変更 旧) 2.9/(0.22Q+1)mg/m <sup>3</sup> 新) 3.0/(0.59×Q+1)mg/m <sup>3</sup>
07/12/14	e	・ 8400- E、8982-500 I の製品廃止、8400- R の追加記載
11/11/09	f	・ GHS 分類の追加 ・ T/#8982-200-M を、MSDS 8982-200M へ分割記載したため削除

### [参考文献]

- 1 ) 化学物質の危険・有害便覧：中央労働災害防止協会(1998)
- 2 ) 15107 の化学商品：化学工業日報社発行(2007)
- 3 ) 化学物質安全性データブック、化学物質安全情報研究会編：オーム社発行(1999)
- 4 ) 産業医学 第52巻 第5号：(社)日本産業衛生学会(2010)
- 5 ) ACGIH 2010 Chemical Substances Threshold Limit Value (2010)
- 6 ) 化学物質の発がん性評価とその分類基準（第6版）：(社)日本化学物質安全・情報センター(2004)
- 7 ) 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）GHS 分類

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。

2013/7/16 本社移転により、住所変更